序論　体制と様式――狩野探幽の「一変」と徳川将軍権力……7
第一部　徳川将軍権力の正統化と〈首都〉の表象――《洛中洛外図屏風》と《江戸図屏風》をめぐって
序　《洛中洛外図屏風》と〈首都〉……13
第一章　洛中洛外図の理念――いわゆる第一定型《洛中洛外図屏風》をめぐって……15
第二章　徳川の京都をえがく――再編成された〈首都〉の絵姿……19
一、京博本《洛中洛外図屏風》と慶長の京都　19
二、勝興寺本《洛中洛外図屏風》と元和の京都　23
第三章　豊臣の都を消す――失われた〈首都〉の絵姿……27
第四章　徳川の都・江戸をえがく――再配置された〈首都〉の絵姿……33
一、徳川将軍権力による〈首都〉の掌握と《江戸図屏風》　33
二、《江戸図屏風》と徳川家光　38
三、《江戸図屏風》の制作背景と作者　43
結　《洛中洛外図屏風》から《江戸図屏風》へ――徳川将軍権力と〈首都図〉の理念……51

第二部　徳川将軍家の始祖・家康の神格化と徳川日本の創建神話の創出――《東照宮縁起絵巻》をめぐって

序　徳川将軍権力と東照宮……55
第一章　《東照宮縁起絵巻》の概要……61
一、《東照宮縁起絵巻》の構成と制作経緯　61
二、《東照宮縁起絵巻》の絵画様式　63
三、《東照宮縁起絵巻》の諸本　66
第二章　《東照宮縁起絵巻》と《聖徳太子絵伝》――交響する聖徳太子と東照大権現……69
一、王法と仏法――《東照宮縁起絵巻》の方法　69
二、《聖徳太子絵伝》、《多武峯縁起絵巻》、そして《東照宮縁起絵巻》　75
三、徳川将軍家による《聖徳太子絵伝》の再編と更新　81
四、《東照宮縁起絵巻》と仏法　85
第三章　《東照宮縁起絵巻》と軍記絵巻――〈源氏将軍〉として描写される徳川家康……91
一、《東照宮縁起絵巻》と軍記絵巻　91
二、〈源氏将軍〉としての徳川家康　103
三、《東照宮縁起絵巻》と〈源氏将軍〉のための歴史／物語　109
第四章　足利将軍から徳川将軍へ――権力と絵巻の系譜……111
一、模倣される《融通念仏縁起絵巻》、あるいは〈源氏将軍〉の血脈　111
二、忌避される《神功皇后縁起絵巻》――〈三韓遠征〉の記憶と《北野天神縁起絵巻》――怨霊神の災禍

結　《東照宮縁起絵巻》の戦略……126

第三部　徳川将軍権力の権威化と新しい〈王朝絵画〉の創生

序　徳川将軍、もう一つの戦い——伝統的権威としての徳川将軍家の文化戦略と狩野探幽のやまと絵……135

第一章　徳川将軍権力と源氏物語絵——〈源氏将軍〉徳川将軍家と『源氏物語』をめぐる政治学……141

一、〈歴史〉〈先例〉としての『源氏物語』——政治権力による〈読み〉の道程　141

二、〈源氏将軍〉徳川家の文化戦略と『源氏物語』　144

三、中近世移行期の源氏物語絵　151

四、前期徳川時代における『源氏物語』絵画化の位相　162

五、新しい規範としての江戸狩野派源氏物語絵と徳川将軍家による源氏物語絵の掌握　193

第二章　徳川将軍権力と歌仙絵——えがかれた秀歌撰（アンソロジー）……199

一、秀歌撰とその絵画化　199

二、三十六歌仙絵　203

三、時代不同歌合絵　207

四、新三十六歌仙絵　210

五、百人一首絵　218

六、江戸狩野派のやまと絵様式にみる〈古典〉の再生　238

七、往還する絵と詞、あるいは〈葵〉と〈菊〉——歌仙画帖が制作される場　243

第三章　徳川将軍権力と〈歴史画〉の誕生――いわゆる《楠公図》を中心に……245
一、四代将軍・徳川家綱政権下の文化再編事業と『本朝通鑑』の編纂　245
二、文献史料中に確認できる楠公図とその着賛者　246
三、楠公図諸本の検討　249
四、楠公図制作の背景　256
五、楠公図のゆくえ　260
結　徳川将軍権力による〈王朝絵画〉の獲得……263
結論　再び、体制と様式
――狩野探幽による新しいやまと絵の創出と徳川将軍家によるやまと絵の掌握……265
一、徳川将軍権力と狩野探幽のやまと絵――内裏障壁画制作をめぐって　265
二、新しい規範としての狩野探幽のやまと絵――いわゆる〈新やまと絵〉の受容をめぐって　270
註　277
伝狩野探幽筆《百人一首絵》模本を基準とする初期江戸狩野派《百人一首画帖》歌仙図像対照表
あとがき　385
人名索引　398